

## 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社からこども食堂等への食品提供・譲渡に関する合意書を締結しました。

令和2年10月26日、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社（社長：近藤正樹 本社：神奈川県横浜市、以下「日本KFC」）と社会福祉法人富山県社会福祉協議会（会長：岩城勝英 以下「富山県社協」）との間で、富山県内のこども食堂等へ調理済み商品を食材として提供支援することに関する合意書を締結いたしました。



これは、日本KFC直営のケンタッキーフライドチキン店舗における調理済みチキンを適切な管理の下、富山県社協を通じて県内のこども食堂等へ食材として安全に届ける仕組みを構築したものです。

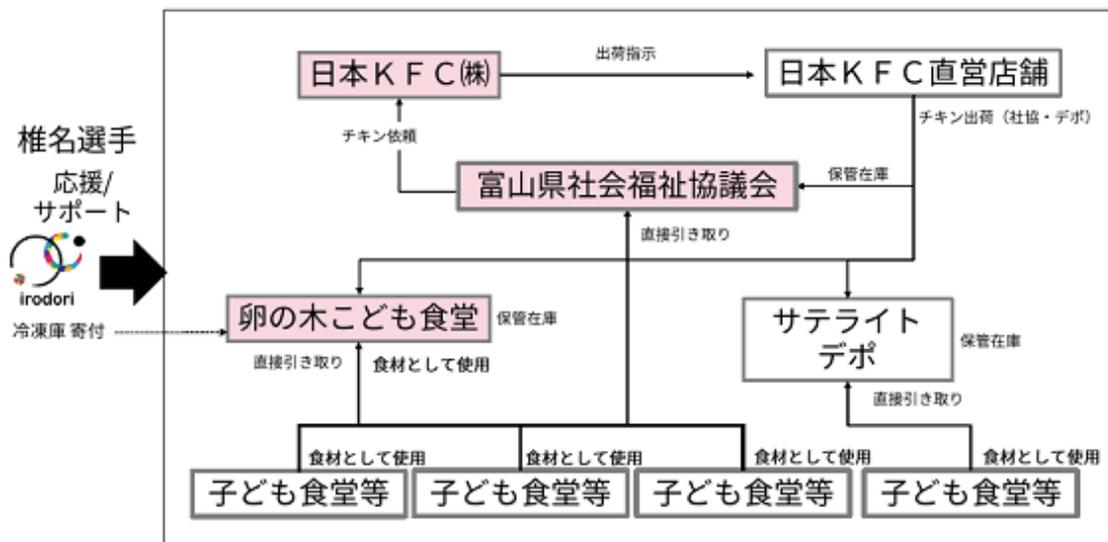
趣旨説明をする椎名選手（右）と日本KFC新井広報CSR部長（左）



（右から椎名選手（カターレ富山）、新井広報CSR部長（日本KFC）、車専務理事（県社協）

運営スタッフや開設場所の確保、食材の調達に苦慮しているこども食堂等にとっても、大手外食企業による継続したバックアップは大変ありがたいもので、日本KFCがこれまで取り組まれてきた地域社会への貢献活動や食品ロス削減とも相まって、今後、全国に支援の輪が広がることを期待されます。

## 取組みスキーム



←調理済みチキンを使ったパエリア  
 (調理済みのチキンは、カレーやスープなどアイデア次第で様々な料理に使用できます。)

また、今回の富山県での食材提供支援にあたっては、J3カターレ富山の椎名伸志選手が、日頃からお世話になっている富山と富山の子どもたちに恩返しをしたいとの思いから日本KFCの活動を知り、日本KFC、富山県社協双方に働きかけてくださり、実現に向けて多大なるサポートをいただきました。

本会では今後、調理済みチキンを冷凍保存するサテライト・デポの開拓と利用を希望するこども食堂等の衛生管理指導などを行い、県内に支援の輪を広げてまいります。

<本件に関する問い合わせ先>

地域福祉・ボランティア振興課 水井  
 TEL 076(432)6123 / FAX 076(432)6124